

一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。

この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、23人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

環境にやさしい 資材の活用を

阿部 洋子ようこ 議員



PB530(プラスチック・ブレンド・ゴミゼロ)を使用したテーブルベンチ

問 環境基本計画にある環境家計簿(※)のモニターの進捗状況は。

答 まちづくり振興部長 環境家計簿を実験的に行ったが手間がかかるという意見があった。現在は、環境家計簿に似たチェックシートによって節電を呼びかける運動に転換せざるを得なくなった。

問 ベンチ等の公園用資材には、どんなものを使用しているか。

答 グリーン購入推進指針等に基づき、工事の資材は可能な限り環境に負荷がかからないものを使っている。
問 さまざまな樹脂が混ざったものや異物がついた

プラスチックを分別せずに溶かし、板状や棒状に生成できる製品(PB530)がある。焼却と比べて二酸化炭素の発生率は14分の1。耐久性に優れ、低コストで何度でもリサイクルができる。活用してはどうか。

答 グリーン購入推進指針に沿った形で経済性も満たすので検討したい。また、公園整備も予定しているので、導入も検討したい。

問 PB530の活用は、市の環境に対する取り組みとして分かりやすいのでは。

答 内閣で環境物品等の調達推進の基本方針が決定されている。庁内への周知など、グリーン購入が推進できると期待したい。
※環境家計簿：環境に負荷のある行動(家庭の電気等の使用量、廃棄物の排出量等)を記録する帳簿。

非常時に備え 地下シェルターの設置を

平 由子ゆうこ 議員

問 アメリカで風速70メートルを超す風が吹いた。日本においても、アメリカは特別という考えは持てない。気温の寒暖の差が激しくなれば、風も強くなる。戦争で防空壕に入って爆撃を防いだように、土の穴でいいので、造って竜巻をし

のぐ考えはどうか。壁や空気口を付ければ省エネの部屋ができる。土の中は、所有者のものなので、誰にも文句は言われずに掘ることができるが。

市長 アメリカにいた時に、竜巻を見て、逃げた経験がある。つくば市の竜巻から1年が経過したが、改めてどのような対応が可能か、気象庁など関連機関に聞きながら、減災や小さな子どもたちなどの身を守るために必要な施策については、情報収集をして、情報の伝達や啓発をしていきたい。

問 外国に行くと、ほとんどの家に地下がある。災害等から守るために必要だと思おうので、1個だけ欲しいので、地下シェルターを造ってほしい。

答 市内のかかりの場所では、1メートル掘らないうちで、地下水位が上がってくる。日本で防災に役立ち、食料の備蓄を行っている地下シェルターがあれば、研究するレベルから対応をしていきたい。

健康づくり推進室の 役割は？

山野井 隆たかし 議員

問 健康づくり推進室は、ウエルネス施策の体系化、方向性の明確化と、健康づくりの具体策を企画立案

し、関係部署と連携して実施するために設置したと聞いている。推進室の役割と今までの取り組みについて。

市長 子どもから高齢者が健康で幸せに暮らせる新しい町づくりを進めるための企画立案、部門間の調整を行い、市全体の健康づくり施策をつくっていく。
健康福祉部長 10年、20年先を見据えた健康づくりを考えていこうということ、業務を行っている。

問 ウオーキングは、生活習慣病の予防として効果がある。余り興味がない方へのPRの方法は。

健康福祉部次長 老いに負けない健康づくり教室を開始した。ウオーキング人口を増やす取り組みで、8団体を、約400人の方が所属。さらに広げたいと思っっている。また、歩くことや健康に興味がない方々に対しては、楽しい、行ってみようと思わせるようなイベントを考えている。

問 関係部署との連携という点で、学校教育における給食の中で、食育に視点を当てて、広げていく考えは。

答 保健センターで実施している栄養指導の事業や給食に対する食育の取り組みに、地産地消の面からフードマイレージ、環境面に優しい食育の推進など、各部署と協議をしていきたい。

取手駅に 小田急ロマンスカーを！

小嶋 吉浩よしかほ 議員

問 3月にJR東日本と小田急電鉄の相互乗り入れが決まった。当面は、普通車両の改造による乗り入れだが、ロマンスカーも改造すれば乗り入れ可能と確認。ロマンスカーの取手駅乗り入れ可能性について、どのように認識しているか。

市長 常磐線の東京駅乗り入れを26年度に控えている。さらにロマンスカーが取手駅まで運転できれば、大変注目を集める。素晴らしいことだと思おうので、ぜひ働き掛けをしていきたい。
都市整備部長 小田急に確認したところ、特急車両の改造の予定はないが、JR・東京地下鉄と検討していくという返事だった。

問 もし、ロマンスカーが取手始発となれば、市のイメージアップは計り知れない。県民にとっても大変便利で魅力ある路線になる。市を挙げて誘致運動に取り組むべき課題と考えるが。

答 取手の活性化に非常に大きなインパクトを与える。市民の利便性はもちろん、近隣の方が取手駅に集まることを考えられる。常磐線沿線の市町村と協調しながら申し入れをしていきたい。